

令和7年度

学校評価

(自己評価)

(学校関係者評価)

山梨市立日川小学校

《 学校評価について 》

【 学校教育法 】

- ・学校は、学校評価を行うと共に、その結果に基づいて学校運営の改善を図り、教育水準の向上に努めること（第42条）
- ・保護者・地域住民等の関係者による理解の深化と連携・協力の推進に資するよう、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供する（第43条）

【 学校教育法施行規則 】

- ・自己評価を行い、その結果を公表すること（第66条）
- ・保護者その他の関係者による評価を行い、結果を公表するように努めること
(第67条)
- ・評価結果を設置者（市教育委員会）に報告すること（第68条）

【 学校評価ガイドライン（文部科学省） 】学校評価の目的

- ・学校の組織的・継続的な改善
- ・説明責任の履行と学校・家庭・地域の連携，協力
- ・教育委員会による支援，条件整備等の改善

《 本校における学校評価の実施手法 》

①自己評価

- ・評価項目 → 校長を中心に検討 → 策定
- ・教職員による評価の実施（12月）
- ・児童アンケート及び保護者アンケートの実施（12月）
- ・児童アンケート及び保護者アンケートの結果を踏まえて、自己評価書を作成

②学校関係者評価

- ・保護者，地域住民が，自己評価の結果を踏まえて評価
- ・本年度の実施→学校運営協議会5名による評価
- ・実施時期 2月26日（木）

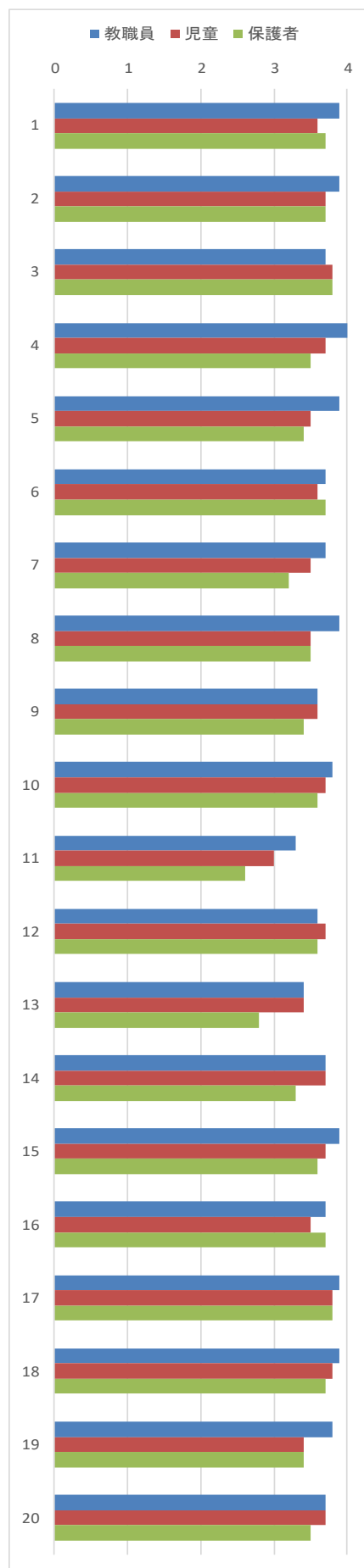
③評価結果の設置者への報告 山梨市教育委員会へ（3月下旬）

令和7年度日川小学校学校評価の結果（自己評価書）

I 教職員による自己評価と児童・保護者アンケートの平均値の比較

		教職員	児童	保護者	最大較差
1	学校経営・学校運営	3.9	3.6	3.7	0.3
2	児童理解	3.9	3.7	3.7	0.2
3	人間関係の構築	3.7	3.8	3.8	0.1
4	協調性を育む教育	4.0	3.7	3.5	0.5
5	あいさつの励行	3.9	3.5	3.4	0.5
6	清掃・環境整備	3.7	3.6	3.7	0.1
7	あきらめずにやり抜く力の育成	3.7	3.5	3.2	0.5
8	授業への取り組み・学びあい	3.9	3.5	3.5	0.4
9	わかる授業づくり	3.6	3.6	3.4	0.2
10	家庭学習の習慣化	3.8	3.7	3.6	0.2
11	自主学習の習慣化	3.3	3.0	2.6	0.7
12	個に応じた学習指導・支援	3.6	3.7	3.6	0.1
13	読書習慣	3.4	3.4	2.8	0.6
14	運動習慣	3.7	3.7	3.3	0.4
15	相談・支援体制	3.9	3.7	3.6	0.3
16	情報発信	3.7	3.5	3.7	0.2
17	魅力ある学校行事	3.9	3.8	3.8	0.1
18	安心・安全な環境づくり	3.9	3.8	3.7	0.2
19	災害時への対応・指導	3.8	3.4	3.4	0.4
20	ICTの活用	3.7	3.7	3.5	0.2

平均値 3.8 3.6 3.5



* 「学校経営・学校運営」

学校教育目標である「心身ともに健康でたくましく、自他を思いやり、自ら学び、考え行動する児童の育成」の達成に向け、全校体制で取り組んできました。これからも子ども達を中心にすえ、「学校は楽しいところだ」と思えるよう、学校・家庭・地域の三者で同じ方向を向いて支援していけるようご理解とご協力をお願いいたします。

* 「あいさつの励行」

年度当初から継続して取り組みを行ってきました。児童会役員を中心に6年生が先頭に立って、気持ちのよいあいさつが広がるように全校児童に働きかけを行いました。お昼の放送では児童会役員が上手にあいさつできた児童を発表しています。発表された児童が在籍しているクラスから拍手が聞こえてきて、友達のよいところを認め合っている姿が見られます。一方で、恥ずかしさから声が小さくなってしまいう児童や自分からあいさつができない児童もいるので、引き続き励ましながら取り組みを継続していきます。

* 「あきらめずにやり抜く力の育成」

どんな人間にも得意不得意があることを伝えながら、苦手なことにも頑張れるよう励ましてきました。また、良さを認める声かけや支援、自己肯定感を高める道德の授業などを継続することで、子どもは自分に自信が持てるようになり、苦手なことにも挑戦しようという気持ちを持つことができます。自分の良いところを伸ばし、その中で他者と比較するのではなく、「みんな違ってみんないい」「あなたはあなたでいい」と個を認める支援を継続し、集団としても個人としても成長できるよう取り組みを継続していきます。

* 「自主学習の習慣化」

今年も三者（教職員・児童・保護者）とも低い評価値となっています。その中で、児童の評価値が0.2ポイント上がりました。与えられた宿題以外に、自分で考えて学習が進められるようになるには越えなければならない壁（生活習慣・メディアコントロール・学習意欲等）がいくつも存在します。自主学習を習慣化するためには、児童自身が学習することの意味を見つけ、学ぶことが楽しいと思えることが大切です。知識が増える喜びや問題が解けた喜び、周囲の大人からの認める声かけなど、プラスの強化が続くことで自発的な学習へと移行していきます。いきなり量と質を求めて頑張るのではなく、まずは少しずつ。子どもが自ら学ぼうという意識が持てるように、学校でも自学への取り組み方を確認したり支援したりしていきます。また、学年部会や個別懇談でご家庭とも連携を図って取り組みを進めてまいります。

* 「読書習慣」

昨年度に比べると保護者・教職員ではポイントが若干上がりましたが、低い評価値となりました。全学年に毎週図書室使用の時間を割り当て、朝読書の時間も活用しながら読書活動に取り組んできました。1, 2年生では外部講師の方に読み聞かせをしていただいたり図書委員による紙芝居の読み聞かせの時間を設けたりして、本の楽しさを伝える時間を作っています。今年度は、2学期末の時点で1人当たり平均93冊（R6年度76冊）の貸出となっています。冊数にとらわれず、年齢に応じた内容の本に移行していく

ように児童の興味関心の幅を広げる働きかけもしています。また、ICTの「よもっか」も活用し、いつでも身近なところに本がある環境を作り、引き続きよりよい読書習慣の形成を図っていきます。

* 「相談・支援体制」

日常の観察や「生活アンケート（年3回）」などから生徒指導上の諸問題を早期発見できるように全校体制で努めてきました。ちょっとしたことであっても児童が相談しやすい雰囲気をつくれるように意識していくとともに、担任だけでなく全職員で全校児童に関わる体制を継続していきます。また、今年度もスクールカウンセラーを配置し、子どもたちや保護者、教職員の心理面の支援が継続して行うことができる教育相談の体制を整えてまいりました。今後も、児童や保護者が相談しやすい雰囲気や体制を全教職員で共通理解し、子どもたちの気持ちに寄り添った生徒指導や教育相談を学校体制で行っていきたいと思います。

いじめに対する対応については、生徒指導主任を中心に組織的に且つ迅速に対応することを再確認しました。また、「いじめ防止基本方針」を常に見直し、「いかなる理由でもいじめはいけない」という毅然とした対応を心がけていきますので、お子様のご家庭での様子から心配されるような状況が見られた場合は、遠慮なく学校へ相談してください。

* 「安心・安全な環境づくり」

学校では、安全計画や防災計画、危機管理マニュアルの見直しを毎年行っています。また、多様な時刻、場所、態様による避難訓練や不審者侵入時に対応する訓練を実施したり、日常の安全点検を行ったりし、その改善の措置を取ることで安全な学校環境づくりに努めてまいりました。今後も引き続き、安全で快適な学校づくりを心がけていきます。しかし、災害はいつどこで起こるかわかりません。登下校中や休日に起こった時にも対応できるようにご家庭の協力を得ながら、「自分の命は自分で守る」意識を高めていきたいと思います。また、メディアの使用につきましても「メディアリテラシー教室」やメディアコントロール能力の向上を目指した取り組み「メディアチェック（冬休み中のメディアの使用時間を振り返り、自分でメディア使用時間の目標を決め、達成できるようにする取り組み）」を通して、健康面や安全面の両方から子どもたちに指導しておりますので、今後も継続して取り組んでいきたいと思います。

◎まとめ

アンケート結果や自己評価から見えてきた本校の教育活動や学校運営上の課題点については、真摯に受け止め、その改善に向けた措置をとっていきます。「社会に開かれた学校」や「信頼される学校」であるためには、学校と家庭、地域の皆さまとの連携は極めて重要です。学校評価も連携を深める一つの方策として捉えていただき、今後も本校の教育へのご協力をお願いします。

II 教職員による自己評価の集計 (R7年度 12月実施)

4 そう思う 3 だいたい思う 2 あまり思わない 1 全く思わない

項目	番号	質 問 項 目 (2 1 問)
----	----	-------------------

() 内数字は、評価平均

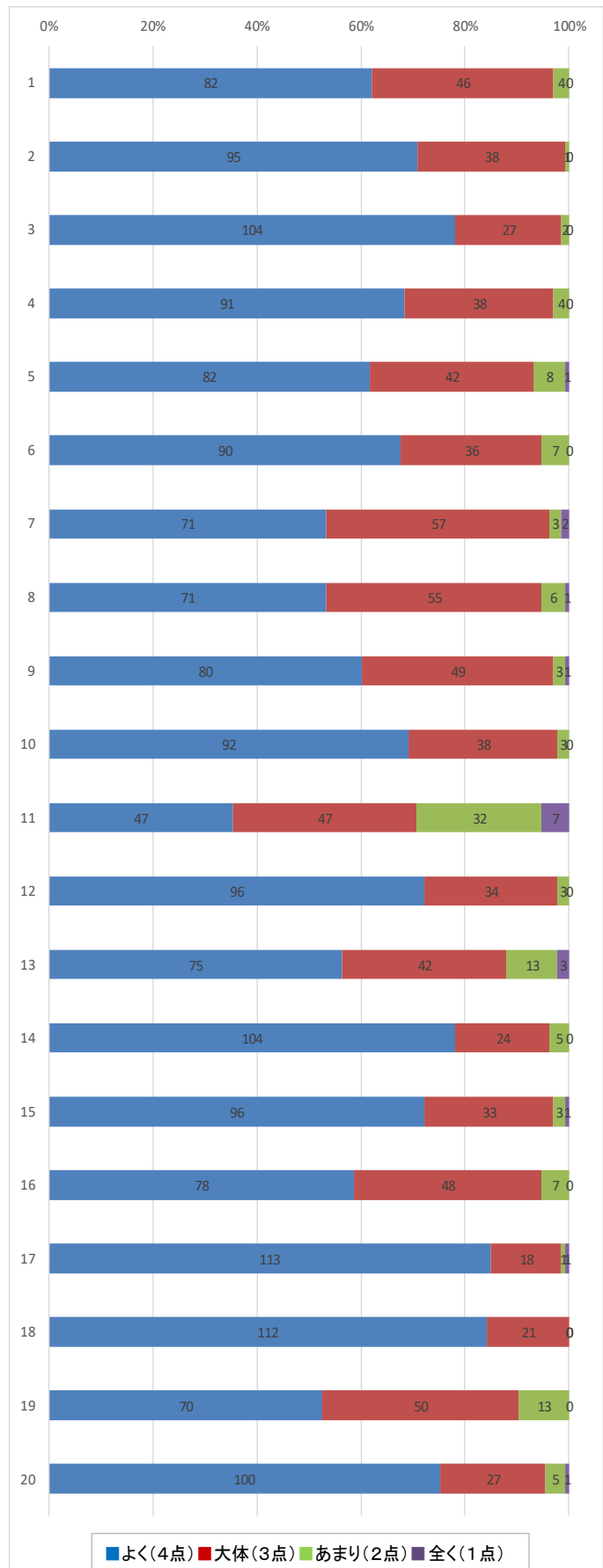
		平均値
1	楽しい学校や学級づくりに努めている。	3.9
2	児童とのふれあいや理解に努めている。	3.9
3	行事や色々な活動を企画するにあたって、子ども同士、子どもと教師の人間関係を深めることにも留意している。	3.7
4	思いやりの心を持ち、友達と協力して生活できるように指導している。	4.0
5	自ら進んであいさつするとともに、児童に指導している。	3.9
6	自ら進んで清掃を行うとともに、清掃指導をしている。	3.7
7	困難に挑戦し、最後までやり抜けるよう励ましたり支援したりしている。	3.7
8	授業において、児童が自分の考えを説明したり、友達の考えを聞いたりするよう指導している。	3.9
9	教材研究をして指導法を工夫し、児童にわかりやすい授業をしている。	3.6
10	宿題を設定し、家庭学習のやり方を指導したりしている。	3.8
11	自学(塾・習い事を除く)に積極的に取り組めるように努めている。	3.3
12	児童が分かるまで、個に応じた学習指導を行っている。	3.6
13	児童が進んで読書に親しむよう工夫している。	3.4
14	児童が運動に親しみ楽しみながら、健康な体を育めるよう指導している。	3.7
15	児童の問題行動に対し、家庭と連絡を取りながら、解決に向けてともに取り組んでいる。	3.9
16	おたより(学年・学級・保健・図書・給食など)やHPで、学校や児童の様子を伝えている。	3.7
17	学校行事(運動会など)は、児童にとって魅力のあるものとなっている。	3.9
18	児童の安全のために、適切な指導や措置を行っている。	3.9
19	通学路の危険箇所や災害時の避難場所および避難の仕方を指導している。	3.8
20	ICTを活用し、授業づくりの視点(学習者主体・個別最適な学び・協働的な学び)を取り入れた授業を行っている。	3.7
21	働き方改革を意識して業務に取り組んでいる。	3.6

Ⅲ 児童アンケート 集計結果【R7.12月実施】

対象:全校児童133名 回答率:100%

	平均値
1 学校は楽しいですか。	3.6
2 先生は、あなたの話を聞いてくれますか。	3.7
3 行事や学校生活で、友達や先生となかよくなりましたか。	3.8
4 友だち誰にでもやさしく接していますか。	3.7
5 進んであいさつをしていますか。	3.5
6 いっしょけんめいそうじをしていますか。	3.6
7 苦手なことやできないことにも、あきらめなくて努力していますか。	3.5
8 授業中、自分の考えを説明したり友だちの考えを聞いたりしていますか。	3.5
9 学校の授業の内容がわかりますか。	3.6
10 宿題は忘れずに取り組んでいますか。	3.7
11 自学(塾・習い事を除く)に積極的に取り組んでいますか。	3.0
12 先生は、分かるまで熱心に教えてくれますか。	3.7
13 読書は好きですか。	3.4
14 運動(体育、行間、休み時間)に積極的に取り組んでいますか。	3.7
15 困ったことがあるときに話せる人(友達、先生、家の人など)がいますか。	3.7
16 学校のおたよりを、忘れずに家の人にわたしていますか。	3.5
17 学校行事(運動会など)は、楽しいですか。	3.8
18 登下校中や家に帰って遊びに行くとき、交通ルールを守っていますか。	3.8
19 登下校中に地震が起きたとき、どうすればいいか知っていますか。	3.4
20 ICTを使った授業は好きですか。	3.7

全体平均値 3.6



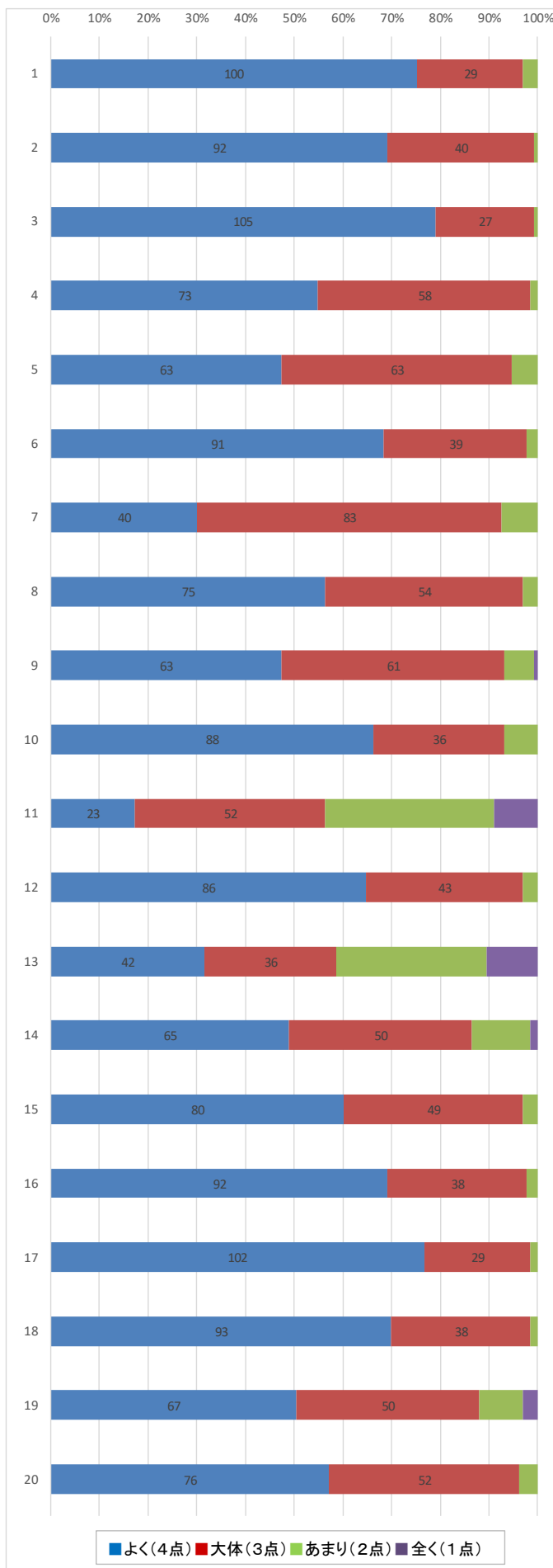
* グラフ内の数値は、人数を表しています。

IV 保護者アンケート 集計結果【R7.12月実施】

対象:全保護者(兄弟姉妹を含めて)133名 回答率:100%

	平均値
1 お子さんにとって、学校は楽しいところだと思いますか。	3.7
2 先生は、お子さんのことをよく理解していると思いますか。	3.7
3 行事や色々な活動は、子ども同士や子どもと先生の信頼関係を深めるために、役立っていると思いますか。	3.8
4 日川小の児童には、思いやりや責任感など、豊かな心が育っていると思いますか。	3.5
5 日川小の児童は、よくあいさつをしますか。	3.4
6 日川小では、教室や廊下・トイレなどがきれいに掃除されていると思いますか。	3.7
7 お子さんは、苦手なことやできないことにも、あきらめないで努力していると思いますか。	3.2
8 お子さんは、学校では一生懸命学習に取り組んでいると思いますか。	3.5
9 お子さんは、授業の内容を理解していると思いますか。	3.4
10 お子さんは忘れずに宿題に取り組んでいますか。	3.6
11 お子さんは、自学(塾・習い事を除く)に積極的に取り組んでいますか。	2.6
12 先生は、分かるまで熱心に教えてくれていると思いますか。	3.6
13 お子さんは、読書が好きですか。	2.8
14 お子さんは、運動に積極的に取り組んでいますか。	3.3
15 子ども達の問題(いじめ・不登校・子ども間のトラブル・学力など)について、担任や学校は、対応していると思いますか。	3.6
16 おたより(学年・保健・図書・給食など)やHP(ホームページ)は、学校の様子を伝えていると思いますか。	3.7
17 学校行事(運動会・日川小祭りなど)は、子ども達にとって魅力のあるものになっていると思いますか。	3.8
18 学校は、児童の安全のために適切な指導や措置を行っていると思いますか。	3.7
19 お子さんに通学路の危険箇所や災害時の避難場所及び避難の仕方を教えていますか。	3.4
20 学校はICT機器を積極的に活用した授業を行っていると思いますか。	3.5

全体平均値 3.5



* グラフ内の数値は、人数を表しています。

【学校経営・学校運営】

- ・給食の時間が少し長くなり、以前より食べられる量が増え、良かったです。
- ・こうしたアンケート的な事は無記名にした方が回答しやすいと思う。

➡ご意見ありがとうございます。給食を食べる時間が確保できるよう、配膳などの工夫に取り組んでいますが、今後も子どもたちが食べる時間の確保に努めて参ります。
アンケートの名前の記入については、フォームの入力確認などのために記名していただいております。引き続き回答のご協力をお願いします。

【児童理解】【協調性を育む教育】【相談・支援体制】

- ・引き続き手厚いご指導の程宜しくお願い致します。
- ・本当に丁寧に 1人1人子どもたちの事をみているので先生方には感謝しています。ありがとうございます。
- ・これからもよろしく願います
- ・いつもよく見てもらえて感謝しています。今後もよろしく願います。
- ・中休みなどは先生方が遊んでくれたりしているので、先生方がいない空白の時間にもイジメなどが無いようにしていただき、日川小の良さが出ていると思います。いつまでも日川小残してもらいたいです。
- ・子どもたちが元気に学校に通い、生き生きと楽しそうに過ごしているのは、先生方のおかげです。これからも行事を減らすことなく、子どもたちが様々な立場や経験を通して、心身ともにさらに成長できますよう、今後ともよろしく願います。保護者としても協力していきたいと思っております。
- ・11/28に南中学校の説明会に行ったとき、日川小学校の生徒は1クラスの団結でまとまり、清水校長先生のごあいさつのときも「お願いします」「こんにちは」など大きな声ででき、体育館に入るときも「お願いします」と日川小らしいあいさつができていたので素晴らしかったです。日川小はプールも自校で行っているの、よく頑張っています。クスノキも大切にしてい、日川小がいつまでも残っていて少ない人数でも頑張っている姿を見せてほしいです。
- ・こどもたちは学校生活をとても楽しんでおり、前向きにやる気に満ちて過ごしています。
- ・先生方には心から感謝しております。いつも本当にありがとうございます。

➡多くの温かいご意見をいただきありがとうございます。これからも家庭と学校が同じ方向を向いて子ども達の育成にあたっていけるよう引き続きご理解とご協力をお願いいたします。今後もしも些細な事でもご心配なことばあればいつでも保護者の皆様からも担任にご連絡をいただき、皆様と共に考え対応をしてみたいです。また、子どもたちに指導していかなければならない点も全校の教職員で取り組んでまいりたいと思っておりますので、気づいた点をご連絡いただけるとありがたいです。

【わかる授業づくり】【家庭学習の習慣化】【個に応じた学習指導・支援】

- ・夏休みと冬休みの宿題が多すぎて、親が負担です。工作の宿題は、材料を揃えるのが大変なので、ポスターにして欲しいです。また、夏休みの宿題は夏休みの友と自主勉だけ。冬休みの宿題は自主勉だけにして欲しいです。(東京や埼玉は夏休みも冬休みも宿題がない学校が多いそうです。)
- ・本人は頑張ると言っていますが、宿題が少し多く感じます。
- ・鉛筆の持ち方をもう一度教えて頂きたいです。親が注意しても全然治らないため、お願いしたいです。
- ・タブレットも活用していて、子供達も機械に慣れていきます。

➡ご意見ありがとうございます。夏休みや冬休みの課題は選択制にするなど児童や保護者の負担が大きくならないよう、毎年検討しているところです。今後も引き続き検討してまいりますので、よろしくお願いいたします。基礎基本や学習内容の定着、家庭での学習習慣を図るために宿題を出していますが、子どもたちの実態を見ながら宿題を出していきたいと思います。また、児童の学習状況を把握し、一人一人きめ細かく支援できるよう全校の教職員で指導にあたっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【情報発信】

・学校のホームページも良いが、学校だよりで、子どもたちの活躍の様子が読めるとよいと思う。

➡ご意見をありがとうございます。学校教育への保護者・地域の皆様の関心の高さが感じられ、情報発信・情報共有の大切さを実感しました。今年度「学校だより」をマチコミ配信しておりますが、今後も効果的な情報発信・情報共有の仕方を模索していきたいと思っております。また、HPでの発信につきましても引き続き行っていきたいと思っております。

【魅力ある学校行事】【PTA 活動】

- ・運動会のボール運動の曲を変更して欲しいです。(令和になったし、20年以上続いているので)
- ・来年以降も運動会は午前だけで良いです。地区運動会もいらないです。
- ・運動会を一日開催にしてほしい。
- ・いつも熱心に子供達と向き合って頂き、ありがとうございます。時代と共に教育の進め方は違うと思いますが、運動会など、もっと競争など行って、闘争心を養ったり、チーム力を向上させていっても良いのではと思います。
- ・いつも熱心に子供達と接して頂き、ありがとうございます。コロナをきっかけに、色々な行事が変わりました。でも今は対応しつつあるので、運動会では、綱引きなどの競技も復活しては良いのかなと思いました。縦割りで、団結力がうまれると思います。
- ・運動会で、万国旗を今年からやめました。子どもが万国旗がなかったから、運動会というワクワクした感じがなくて寂しかった…と言っていました。保護者の片付けが大変だからという理由で、子どもにもわかってもらっていますが、意見として。運動会での、縦割りリレーがしたかったそうです。
- ・運動会の万国旗ですが、今年から片付けに時間がかかるからと付けなかったようですが、子どもにとっては練習と本番の違いだと思うので来年度は付けて欲しいです。
- ・マラソン大会の距離を戻してほしい
- ・持久走大会については懇談でお話させていただきました。
- ・マラソン大会の距離が短くなり、持久走大会となり残念でした。子供たちの体力向上のためにも必要だと思います。全員にメダルをあげるというのも必要あるのかわかりません。メダルをあげるのならば、上位の子だけで良いと思います。
- ・持久走大会や運動会があり、成長がよくみれました。中止などが続く中で日川小は、できてよかったです。
- ・スケート・スキー教室があって、ウィンタースポーツに触れる機会があり、とてもありがたいので継続してほしい。
- ・音楽発表会の前後に4年の親子活動の中で保護者発表の場をもうけて欲しい。2月まで伸ばすと又練習し直さなきゃいけないので。
- ・各学年で行う親子活動をかぶさないで欲しい。授業参観も同じ日にすると、姉弟がいる家は見ることや参加することが難しいです。

➡たくさんのご意見をありがとうございます。運動会や持久走大会など役員の皆様をはじめ、多くの保護者の方々のご協力をいただき、今年も無事に開催することができました。学校の教育活動は、時代と共に新たな局面をむかえています。教育課程を再編成し、教育の目的や目標をより効果的に、また効率的に達成できる形を毎年

模索しているところです。

持久走大会の距離も学習指導要領

「一定の速さでのかけ足・無理のない速さでのかけ足を2～3分程度続けること（1・2年）」

「一定の速さでのかけ足・無理のない速さでのかけ足を3～4分程度続けること（3・4年）」

「無理のない速さで5～6持久走をすること（5・6年）」

に基づき、児童の安全を最優先に考え、実施方法を検討しました。

学校行事やPTA活動につきましては、よりよい方向を検討してまいりますので、今後とも保護者の皆様には、学校教育へのご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。

【安心・安全な環境づくり】

- ・最近熊の出没が相次いでおります。持久走大会の日も近くに出たと聞きましたが、マチコミメールでの連絡もなく、そのまま実施だったので少し心配になりました。
- ・感染症(インフルエンザやコロナ等)が出た場合は、マチコミで知らせて欲しいです。
- ・校舎も体育館もトイレの履物がないので、衛生面から区別した方がいいと思います。
- ・クスノキのロープの杭が見えづらく危ないと思います。側溝の金網に乗ってはいけないと分かっている、乗ってしまう事があるので、修繕が必要だと思います。
- ・子供達の学年グループ LINE があるのですが、一部のお子さんですがやりたい放題で困っています(スタンプの連打、意味のない内容、後で見れないよう多数の送信取り消し、夜遅くまでのLINE等)通知が何百となっていることもあります。抜けたくてもなんとなく抜けられないという子供の心情もあるようです。グループ LINE 禁止の学校もあるようですが、せめて保護者の方は自分のお子さんのLINEを見守る必要があると思います。学校の方でもグループ LINE の使い方について早急に話し合う機会を作って頂けたらと思います。
- ・本年は駐車場もひろくなりとても使いやすく、送り迎えがスムーズになりました。
- ・ブランコが子供たちは欲しいそうです
- ・予算もあるかと思いますが、点検や修理をして、子どもたちが校庭の遊具で思いっきり遊べるようにしていただきたい。
- ・児童センターみたいな理科室でもよいですが夏暑かったり冬寒かったりする時放課後 学童通いしていない人以外が過ごせる簡易的な場所があれば 子供たちも放課後の時間の過ごし方にプラスできるのかなと思いました。
- ・懇談や参観で学校へ行くと、階段が十分に掃除されていないなと感じます。児童が少なくなって掃除も大変だとは思いますが…。

➡ご意見をありがとうございます。子どもたちの安全を第一に考え、改善すべき点は早急に改善して参ります。安心・安全な学校であるために、今後も些細なことでも気づいたときにいつでも情報をお寄せいただけるよう、お願いいたします。SNSやLINEなどメディアの使い方について、メディアリテラシー教室を行うなど危険性を学習しているところではあります。安全に利用できるよう、保護者の方と連携していきたいと思っておりますので、気が付いたことがありましたら、気軽に情報をお寄せください。また、安心・安全な環境づくりのためにも、保護者と情報を共有する点につきましてはマチコミメールで発信していきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

令和7年度 学校関係者評価書

学校関係者評価委員会

- 1 実施日 令和8年2月26日(木) 15:30~17:00
- 2 会場 日川小学校 図書室
- 3 参加者 ○学校関係者評価委員(学校運営協議会委員)

○学校職員

校長・清水 誠治 教頭・藤波 貴 教務主任・高野恵美子

4 学校から提案された内容

- (1) 学校経営の状況について(学校評価)
- (2) 今年度の日川小の教育活動について
- (3) 次年度の学校経営について
- (4) その他

学校関係者評価 (学校関係者からの質問・意見)

【学校経営の状況について(学校評価)】

○あいさつの励行

- ・日川小の子供たちは、朝夕のあいさつを元気よくしてくれている。
- ・元気な声でよくしてくれている子が多い。性格にもよるけど、あいさつをしない子には、こちらから声をかけている。
- ・子供がよく声を出して、「お願いします。」「ありがとうございます。」と言っているのが気持ちいい。

○相談・支援体制

- ・スクールカウンセラーの活用状況を教えていただきたい。
- ・他校との兼務であるが、年12回(月に1回)程度来ていただいている。児童や保護者がカウンセリングしている。6年生は、中学校への進学に向けて、不安を取り除くために全員面談を行っている。
- ・教師とカウンセラーが面談することもある。

○魅力ある学校行事

- ・今年度持久走大会が変更になった点をお聞きしたい。
- ・持久走大会で突然死という問題がある。学習指導要領に基づき、距離を変更した。1・2年は1キロ、3・4年は2キロ、5・6年は3キロとした。実施に当たり、児童の安全面を最優先にしている。
- ・学校にはいろいろな子供がいる。だから、最大公約数で行っていくこともあると思うが、全員の子供に配慮していかなければならない場である。だから、全員に配慮した教育をしてほしい。

○安心・安全な環境づくり

- ・子供たちの安全を最優先してほしい。
- ・地域の危険箇所を横断歩道を設置するために、視察もしてもらったが難しい。
- ・クスノキの保全のために周りの杭はしっかりしたものがよい。根っこを守るためにしっかりしたものがよいと思う。
- ・遊具の設置は、赤い羽根共同募金に請求して予算をつけてもらえる方法もあるので、活用してほしい。

○全般に関わって

- ・「楽しい学校づくり」で「学校は楽しい」と回答している児童がとても多い。「全く楽しくない」と回答している児童はいない。他の項目でも「全くそうでない」と回答している児童は少ない。しかし、その少ない子供たちに注意して目を向けていってほしい。「先生は、あなたの話を聞いてくれますか」「行事や学校生活で友達や先生と仲良くなれましたか」という項目もよい回答が多い。学校がやっていることに対して子供たちが肯定的に捉えている姿が伺える。
- ・自由記述でいろいろ書いていただいているが、いただいたご意見を大切にしてほしい。
- ・何でもかんでも学校というのではなく、家庭でもやるものだという認識をもってもらうことも大切だし、必要である。
- ・子供は、好きなことや関心があることにはがんだり、エネルギーを発揮する。自分の関心があるところはどこか、目の付け所を教師がみつけてあげてほしい。
- ・鉛筆の持ち方についてのご意見があるが、今の子供は筆圧が弱い。ICTもいいが、自分で書くこと、書道も大切にしてほしい。
- ・スキーやスケートなど特別な子供を育てるのではなく、いろいろな体験をさせてほしいので、スキーやスケート教室を続けてほしい。

【今年度の日川小の教育活動について】

- ・外部講師をお呼びして、体験学習を行ってきた。
- ・外部講師の人材リストはリニューアルして活用している。これがあることにより、児童の学習に毎年活かすことができる。

【次年度の学校経営について】

- ・一番は児童 128 名と教職員の安全と安心を最優先ということをもとに教育方針や教育活動を展開して行きたい。
- ・二番は「続けていきたい部分・守りたい部分」と「変えなければならない部分」

「続けていきたい部分・守りたい部分」は川倉の活動、すごく元気な挨拶ができること、スケート・スキー教室。

逆に「変えなければいけないもの」はマラソン大会。また、この地域では昔から全世帯からお金を集めて地域の方が協力してくださっている。ある意味特色ある活動であるが、こういった時代になってきてその辺はどうなのか、これは、直接学校でやってるものではなくて地域で集まったものを学校にいただいている立場なので、いい悪いってことではなく、そういった部分を考えていくような時期ではないかと思う。遊具の設置。それからラインに関する子供たちのトラブルが出始めた中で保護者の方にその脅威を伝え、ぜひ家庭で話してくださいということとを専門家も交えて話す機会の提供。

・令和八年度今言ったようにそれぞれの活動の内容を見ながらこれからの教育の形を見直す段階に来ている。同時に学校の方で取捨選択してやっていくところを保護者の方に情報提供し、丁寧に説明していかなければいけないとすごく感じている。教育を進めていく上では学校だけではできないので保護者の方や地域の方々のご協力が必要。そういった意味でも変える部分については情報発信し、引き続き丁寧に対応して行きたいと思っている。それと同時に学校学校運営協議会の皆さんにも発信役になっていただき、来年度もぜひ学校運営の方に参画していただきたい。この地域は協力的でその中で子供たちが育まれている。そういった部分を日川プライドとしていい形で進めるための子供たちの教育に提供していきたい。

【次年度の学校運営協議会の委員についての確認】

・役員の任期は2年。地区の役職で委員になっていただいている方は入れ替えがあるかもしれない。複数年継続してくださっている方もいますが、役職でお願いしていくので、ご承知いただきたい。